

2022年4月より

新健診システムが稼働します

～より質の高い健康診断・人間ドック・健康づくりサービスの提供に向けて～

事業管理部 経営管理室 情報システム課 課長 伊藤 剛
 精度管理センター 結果処理事務課 課長

新しい健診システムは、ソフトウェア・サーバー・パソコンが最新のものになります。

利用者様の満足度向上を目指し、WEB問診の導入や、安定した質の高い健康診断・人間ドック・各種健康づくりサービスを提供する仕組みをつくります。

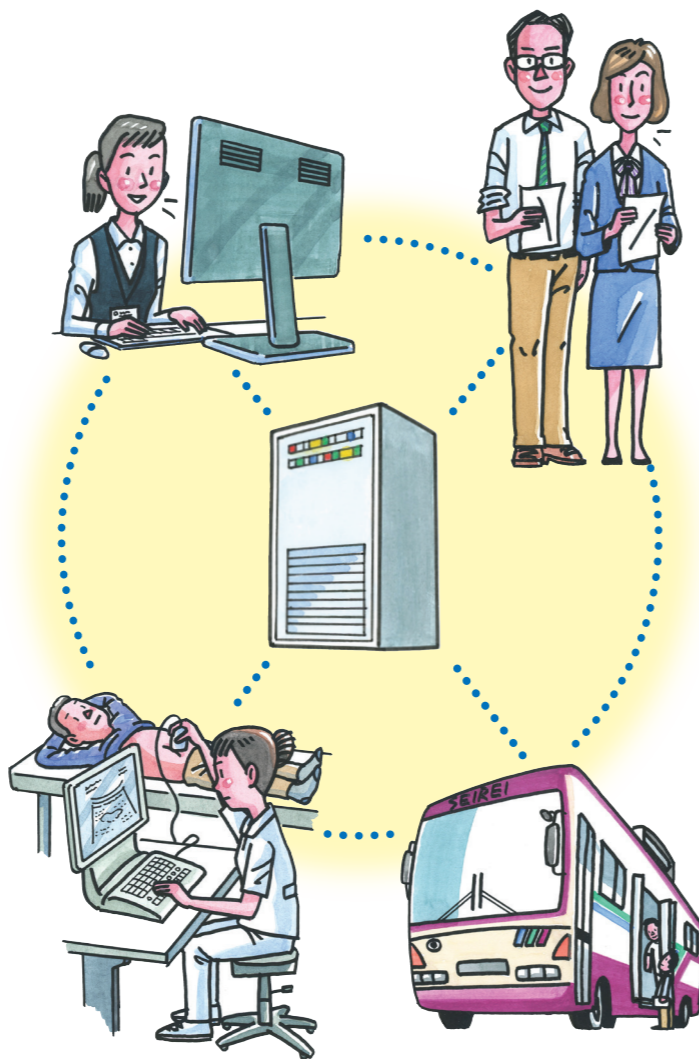
対象施設

- 聖隷健康診断センター
- 聖隷予防検診センター
- 聖隷健康サポートセンター Shizuoka
- 聖隷静岡健診クリニック
- 関連法人施設
(聖隷沼津健康診断センター、聖隷富士病院)

利便性の向上

「より進化した予約システムやWEB問診により、利便性が向上します」

新機能として、WEB予約、WEB問診(2022年10月稼働予定)のシステムを導入します。これにより空き枠がタイムリーに確認できるようになり、自分の予定に合わせて24時間好きなときに予約を取ることができます。また、紙に書いていた問診は事前にWEBで実施できるため、健診当日に問診票を持参する必要がなくなります。

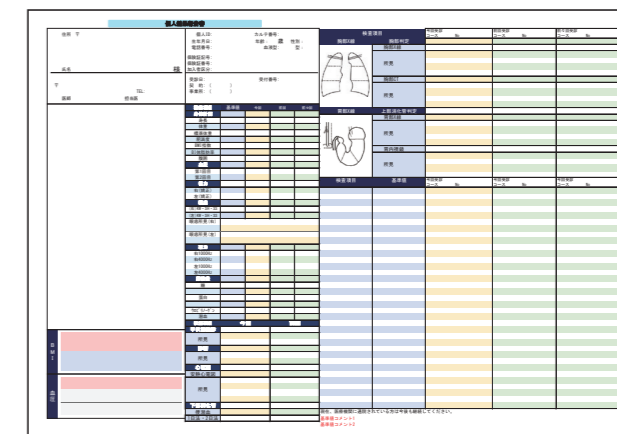


システムの安定稼働

「止まらないシステムを目指します」

データセンターのサーバー及び基幹ネットワークを冗長化*(多重化)し、止まらないシステム構築を行います。システム障害をゼロにすることを目標とします。

※耐障害を高めるためにシステム全体を二重化し、信頼性や安全性を向上した構成にすること。



▲個人結果報告書

システムの改善

「処理速度が改善されます」

新しい健診システムはネットワーク負荷が少ない構成となります。朝の時間帯の受付業務などの処理速度が改善されます。

継続性の維持

「システムは新しくなっても、帳票類の見た目は変わりません」

現在使用している個人結果報告書などは、見た目も含め大きな変更はなく、毎年ご利用いただいている方にも違和感がないよう配慮しております。

標準的な基準の採用

「根拠に基づく判定基準、所見・病名を使います」

多くの健診機関は独自の判定を使用しており、保健事業部も健診事業を開始してから独自の判定を使用してきました。この判定を見直し、人間ドック学会の基準に準拠した判定に変更します。(別表・判定基準を参照)

所見・病名については、日本医学健康管理評価協議会が推奨している「健診標準フォーマット」やMEDIS標準マスターなどを使用し、エビデンス(根拠)がよりしっかりと示せるものを使用します。

●判定基準

現行の判定区分 (保健事業部独自基準)		新判定区分 (人間ドック学会基準)	
判定	内容	判定	内容
A	異常なし	A	異常なし
B	心配なし	B	軽度異常
C	経過観察	C	要経過観察
E××	××カ月後再検査		要再検査
G	要受診	D	要精密検査・治療
E	要精密		
F	通院継続	E	治療中

有効なデータ提供

「健康づくりに貢献できるデータ利活用の提案をします」

新しい健診システムでは、データをより有効活用できるデータベース構造になります。このデータベース構造により、健保様・事業所様の健康づくりサービスに貢献できるような提案を行います。

将来的には他健診機関や病院データと連動することで、ビッグデータ分析など、さまざまな分野に貢献できるデータ提供を目指します。

▶ 新健診システム導入に伴う休業日

	2022年4月	1日(金)	2日(土)	3日(日)	4日(月)	5日(火)	6日(水)	7日(木)	8日(金)	9日(土)	10日(日)
施設内健診	休館日										
巡回健診	休業日					通常営業開始					